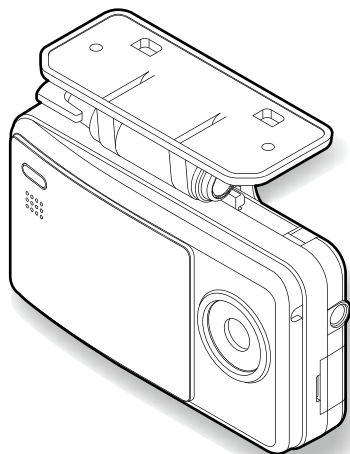




この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。なお読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
<u>長押し</u>	スイッチを 3 秒程度長めに押すことを示しています。

⚠ 注意

電源が ON の状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSD カード破損の原因となります。必ず、電源 OFF 後 LED が 3 秒以上消灯した事を確認し、microSDHC カードの抜き差しを行ってください。

目次

目次	2	便利な機能	41
ご使用上の注意	3	録画モードを変更する	41
知っておきたいこと	6	威嚇 LED を点滅させる	41
各部の名称	7	車両メンテナンス機能	42
本体	7	安全運転報知機能	43
付属品	8	GPS セーフティアナウンス機能	44
取付け方法	9	車速アラーム機能	44
取付手順を確認する	9	エコモード	45
電源コードを取付ける	10	付録	47
内蔵バッテリーを取付ける	12	こんなときは?	47
取付け位置を確認する	13	エラー確認表	48
本体を取付ける	14	POWER / ERROR ランプ	
基本操作	21	確認表	49
映像を記録する	21	製品仕様	50
電源を ON にする	22	保証規定	51
電源を OFF にする	22	DC-DR350 保証書	裏面
動作を確認する	23		
パソコンで見る	25		
ビューワーソフトを			
インストールする	25		
映像を再生する	25		
設定を変更する	28		
パスワードを設定する	29		
録画データを消去する	30		
工場出荷時に戻す	31		
テレビで映像を見る	32		
本体とテレビを接続する	32		
映像を再生する	33		
設定を変更する	36		
パスワードを設定する	38		
録画データを消去する	39		
工場出荷時に戻す	40		

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の2つに区分して、説明しています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行なってください。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・お車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
- microSDHC カードおよびその他の付属品は子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠ 注意

- ルームミラー裏側への取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないようにフロントガラス上部（ルームミラー裏側）へ設置してください。（⇒ P13）
- 本製品を取付ける際は、取付け面の汚れをきれいに拭き取ってから取付けしてください。汚れなどがある場合、走行時の振動などで本製品が外れる恐れがあります。
※ 必ず付属のクリーナーを使用してください。パーツクリーナー、ガラスクリーナー等を使用した場合、成分によっては剥がれる場合があります。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅している為、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用上の注意

⚠ 注意

- 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、落したり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなど無いが、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
- 故障や破損の原因となりますので、microSDHC カードは指定以外の方向で差込まないでください。
- 本体の通気孔を塞いだり、物を入れないでください。故障の原因となります。
- コード等の配線時は車両金属部とのショートに気をつけてください。故障の原因となります。
- キーを OFF にした時シガープラグの電源が 0V にならない車両（外車など）は、オプションのシガープラグコードの使用はできません。必ず付属の電源コードで ACC 電源に直接接続してください。
- microSDHC カードを抜く時は必ず、電源 OFF 後 LED が 3 秒以上消灯した事を確認してから抜いてください。microSDHC カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き差しを行うと、データ破損、本体故障の原因となりますのでご注意ください。
- 本製品をイタズラなどの目的で使用しないでください。個人情報保護法に抵触する恐れがあります。また使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品にはお買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。（ただし microSDHC カード、内蔵バッテリー、両面テープ等の消耗品は保証の対象なりません）
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品は DC 12/24V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の作動有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

⚠ 使用上のお願い

- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- フロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなる場合がありますので、ワイパーの可動範囲に本製品の取付けを行なってください。
- 太陽などの高輝度の映像を記録すると、太陽が黒い点のように映ることがありますが製品の異常ではありません。
- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
- 本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- テレビアンテナの近くには設置しないでください。テレビの受信感度の低下・チラツキ・ノイズの原因となる可能性があります。
- 真夏などの炎天下の中では製品が正常に作動しないことがあります。特に夏場は車内が高温になることがありますので、窓を開け車内の温度を下げてからご使用ください。
- microSDHC カードと内蔵バッテリーは消耗品であり、約 2 ～ 3 年を目安に交換することをお勧めします。
・ 使用状況により microSDHC カードや内蔵バッテリーの寿命は短くなることがあります。
- microSDHC カードの消耗に起因する故障または損傷については一切の責任を負いかねます。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。
- 本製品使用時は必ず付属の microSDHC カードを使用してください。市販の microSDHC カードを使用した場合、正常に録画出来ない場合があります。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンにバックアップを取ることをお勧めします。
- 本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータが破損する恐れがあります。
・ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
・ 本体を水にぬらしたり、強い衝撃を与えた場合。
・ 長期間使用しなかった場合。
・ 内蔵バッテリーを接続せずに使用したり、消耗した内蔵バッテリーを使用し続けた場合。

ご使用上の注意

知っておきたいこと

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 衛星受信までの時間について

本製品を初めて使用する時や長時間使用しなかった場合、衛星を受信するまで 5 分程度時間がかかることがあります。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 測定誤差について

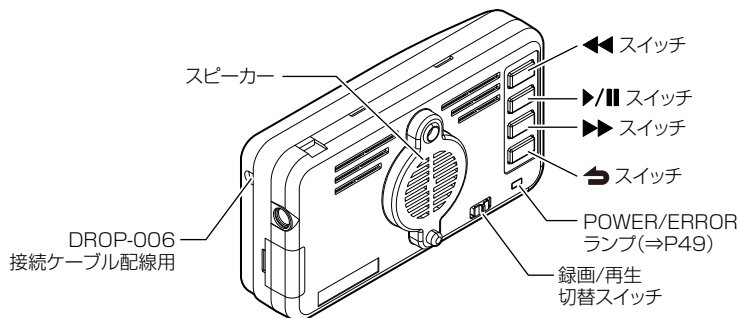
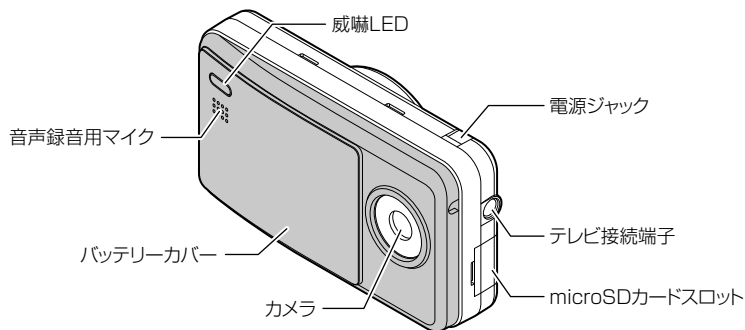
本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機等の車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

各部の名称

本体



⚠ 注意

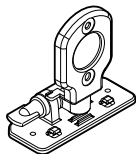
microSD カードと内蔵バッテリーは消耗品であり、約 2 ～ 3 年を目安に交換することをお勧めします。

- ・ microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・ 使用状況により内蔵バッテリーの寿命は短くなることがあります。

各部の名称

付属品

ステー (1 個)



ステー固定用ネジセット
(1 個)



内蔵バッテリー (1 個)



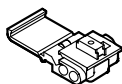
電源コード
(約5m/1Aヒューズ内蔵)



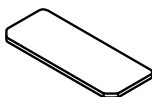
コードクランプ (5 個)



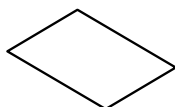
エレクトロタップ (1 個)



ステー固定用
両面テープ (1 枚)



脱脂クリーナー (1 枚)



microSDHC カード(1 枚)
(SD カード変換アダプター付属)



※出荷時本体に
セットされています。

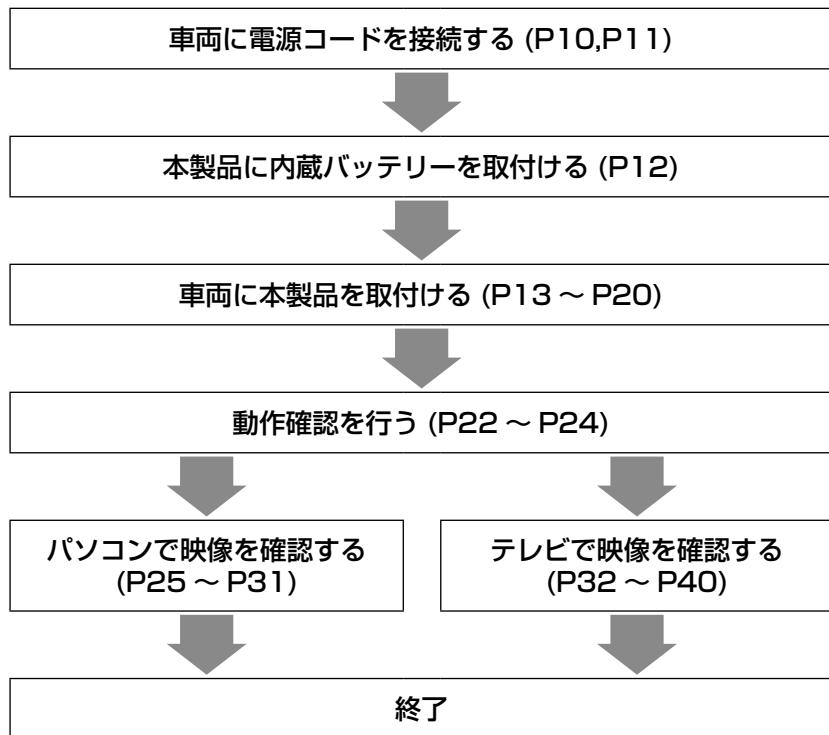
別売オプション

品番	品名	使用目的
998002-8730	シガープラグコード (DROP-004)	本製品の電源を車両シガーソケットから取る事ができます。
998003-0160	AV ケーブル	本製品をテレビで再生するためのケーブルです。
998003-0170	AC アダプター	本製品の電源を家庭用 (AC100V) コンセントから取ることができます。
998003-0200	デジタコ連携ハーネス (DROP-003)	DROP-006 に富士通製のデジタコと連携することができます。
998003-0240	内蔵バッテリー	交換用内蔵バッテリーです。
998003-1230	プルアップハーネス (DROP-005)	無電圧車速パルス車などへ DROP-006 を接続する際に使用します。
998003-2390	microSDHC カード	交換用 microSDHC カードです。
998003-2400	車両情報ユニット (DROP-006)	本製品と接続することで車速情報、ブレーキ情報を取得することができます。

取付け方法

取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行なってください。



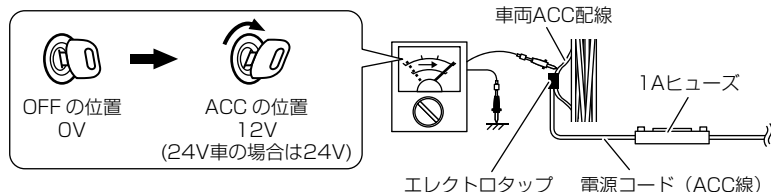
取付け方法

電源コードを取付ける

ACC 線を接続する

付属電源コードの ACC 線をイグニッションキーが ACC 位置で電圧が 12V (24V 車の場合は 24V)、OFF の位置で必ず 0V になる車両の配線に付属のエレクトロタップで接続します。

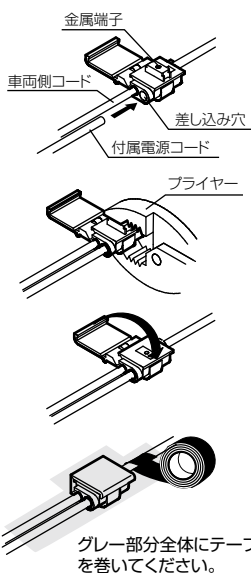
※ OFF の位置で電圧が 0V にならない車両やアイドリング検出機能 (⇒ P46) を使用する時はイグニッション電源へ接続してください。



アドバイス

エレクトロタップを使った接続方法

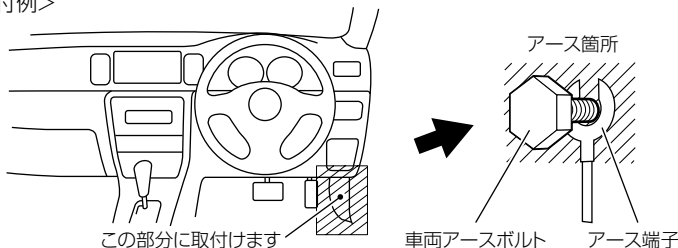
- 1) 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、付属電源コードは差し込み穴からストップパーまで深く挿入します。
- 2) プライヤー等で金属端子を完全に押込みます。
- 3) カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。
- 4) 最後に市販の絶縁テープを巻いて接続部を保護します。



アース線を接続する

付属電源コードのアース端子を車両アースボルトへ確実に共締めしてください。

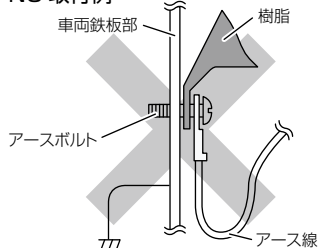
＜取付例＞



⚠ 注意

- ・アースボルトとアース線の間に樹脂などを挟んでいる（右図）と動作が不安定になることがあります。車両鉄板部に確実に共締めしてください。
- ・アース箇所が塗装されている場合、塗装を剥がして接続を行ってください。

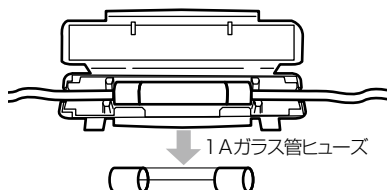
NG 取付例



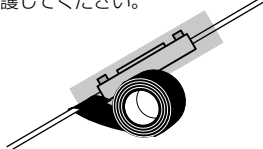
👉 アドバイス

ヒューズ交換方法

電源コードのヒューズホルダーのキャップを開け、同じ容量、サイズガラス管ヒューズ (1A) と交換してください。また、初回取付け時やヒューズを交換した後は必ず絶縁テープでヒューズホルダーを保護してください。



初回取付け時またはヒューズ交換後、絶縁テープでヒューズホルダーを保護してください。

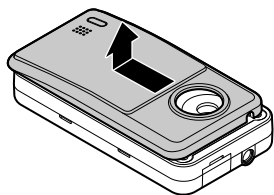


取付け方法

内蔵バッテリーを取付ける

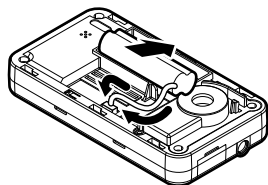
本製品を使用する前に、内蔵バッテリーを本体に取付けてください。

- 1) 本製品のバッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて外してください。

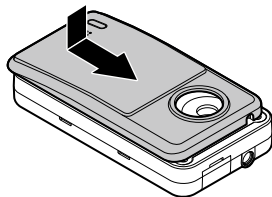


- 2) 右図のようにケーブルを取回し、バッテリーコネクタを接続してケース内に内蔵バッテリーを入れてください。

※防音用のスポンジに押当てながら内蔵バッテリーを入れてください。



- 3) バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて取付けてください。

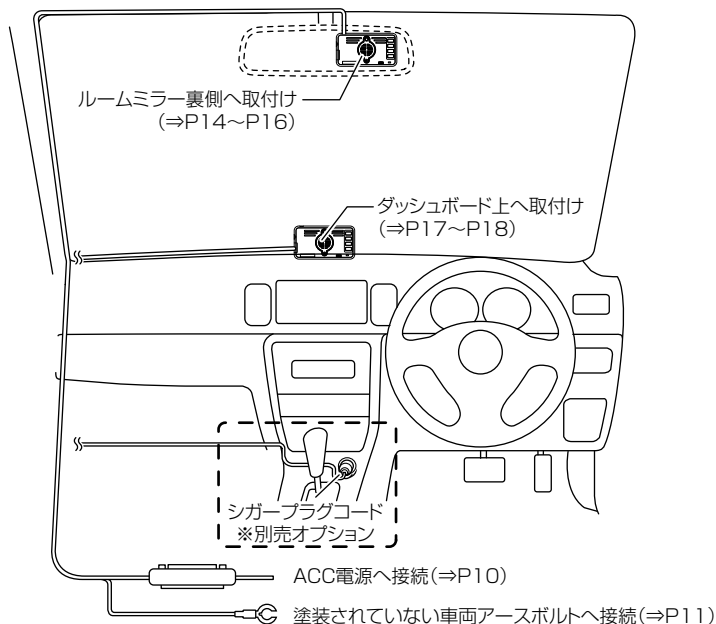


⚠ 注意

- ・コネクタには極性がありますのでコネクタの凹凸に合わせてください。
- ・コネクタは必ず奥までしっかり差込んでください。
- ・内蔵バッテリーの寿命は約2～3年が目安となりますが、使用状況により内蔵バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- ・内蔵バッテリーの購入に関しましては、販売店にてご注文ください。
- ・本製品は専用の内蔵バッテリーを使用しているため、他のバッテリーは使用しないでください。故障の原因となります。

取付け位置を確認する

本製品はステーの向きを変えることでルームミラー裏側、またはダッシュボード上へ取付けることができます。取付け位置についての注意事項等は各取付けページを参照ください。



⚠ 注意

- ・必ず付属のクリーナーで貼付け面の汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行なってください。パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当たらないよう注意してください。
- ・一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。
- ・取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。外れる原因となります。
- ・ステー角度調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。

取付け方法

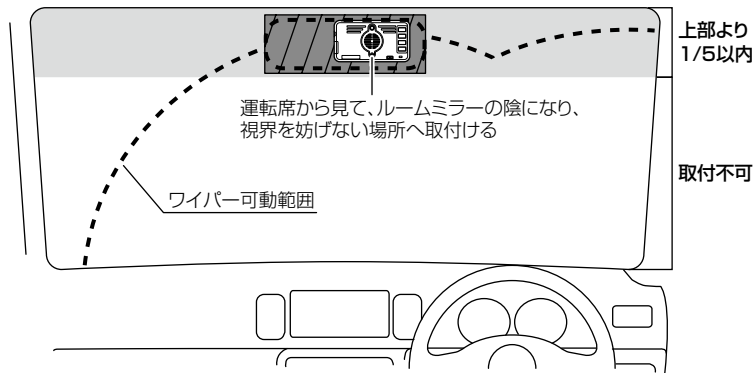
本体を取付ける

ルームミラー裏側へ取付ける

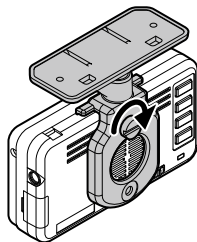
⚠ 注意

- ・ルームミラー裏側への取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より 1/5 以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。
- ・ワイパーの可動範囲に取付けることをおすすめします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・地デジ等テレビのアンテナ近くには設置しないでください。
- ・本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- ・本製品を車検シールの上に貼らないでください。

※ミラー裏へ取付ける場合、 の範囲へ取付けを行なってください。



1) 本体にステーを付属のネジで下図の向きに固定します。

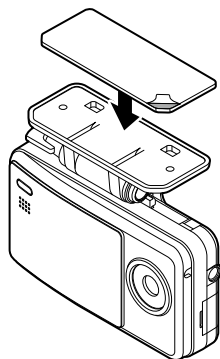


👉 アドバイス

- ・ネジはコインなどで必ず増し締めしてください。
- ・本体を取外す時は、本体を落としたり、固定しているネジをエアコンの吹出し口などに落とさないように気を付けてください。

2) ステーに両面テープを貼ります。

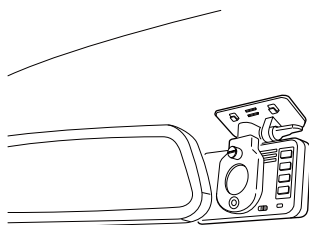
※仮止めし、撮影映像および microSDHC カードが取り出せる位置である事を確認することをお勧めします。



3) フロントガラスを付属のクリーナーでキレイにし、乾いた後、**本製品が水平になるように**ステーをフロントガラスへ貼付けます。

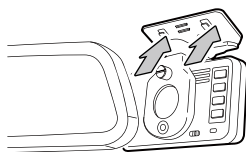
※約 20 秒間押付け、確実に固定します。

※必ず付属のクリーナーを使用してください。パーツクリーナー、ガラスクリーナー等を使用した場合、成分によっては剥がれる場合があります。

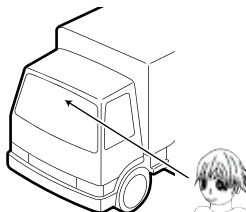


アドバイス

貼付面裏側のステー部を手でしっかり押さえて貼付けムラが無いようにしてください。また貼付後に、車外から貼付面にムラがない事を確認してください。



ステー貼付け面を裏側から押さえる。



車外から貼付面にムラがない事を確認する。

◇ステー貼付け面



全体に貼付いている

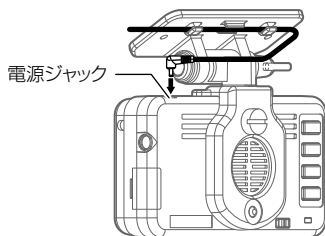


浮き箇所がある

取付け方法

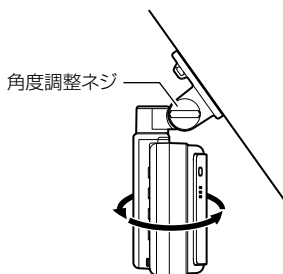
- 4) 電源コードを接続し、配線の取回しを行ってください。

※運転の妨げにならないように、付属のコードクランプを使用し、配線の取回しを行ってください。



- 5) ステアの角度調整ネジを緩め、フロントガラスに合わせ、本体が垂直になるように調整します。

※ステアは水平に 360° 回転しますので、横方向の調整も可能です。

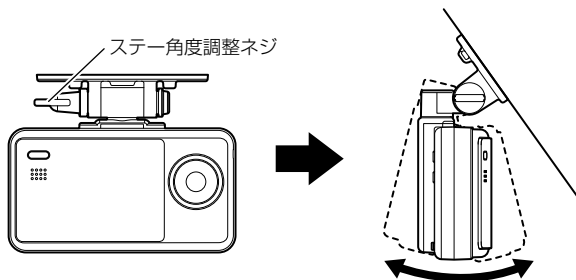


👉 アドバイス

角度調整方法

ステアの角度調整ネジを緩めた後、本体を揺らすことで道路に対して垂直になります。その後、角度調整ネジを締めてください。

※ 車両が水平になる場所で調整を行なってください。



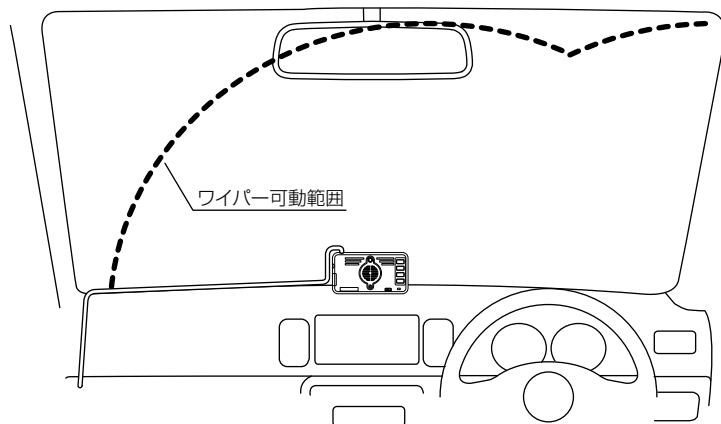
記録した映像が暗い場合

本製品を少し下向きになる（記録映像内の道路水平線が少し上にくる）ように角度を調整することで改善する場合があります。

ダッシュボードへ取付ける

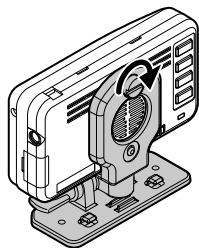
⚠ 注意

- ・ダッシュボード上へ取付ける場合は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- ・ワイパーの可動範囲に本製品を取付けることをおすすめします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなる場合があります。



取付け

- 1) 本体にステーを付属のネジで下図の向きに固定します。



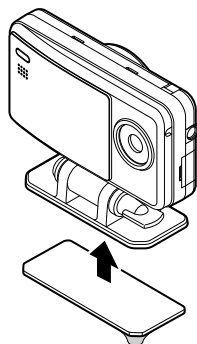
👉 アドバイス

- ・ネジはコインなどで必ず増し締めしてください。
- ・本体を取外す時は、本体を落したり、固定しているネジをエアコンの吹出し口などに落とさないように気をつけてください。

取付け方法

2) ステーに両面テープを貼ります。

※仮止めし、撮影映像を確認することをお勧めします。

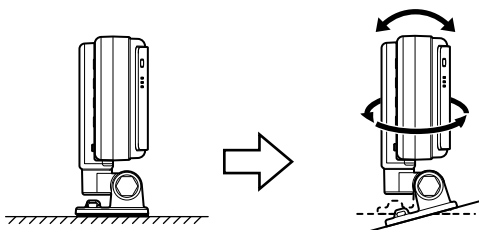


3) ダッシュボードを付属のクリーナーでキレイにし、乾いた後、本製品を固定します。ステアの角度調整ネジを緩め、**本製品が道路と水平になるように**角度を調整します。

※ステアは 360° 回転します。

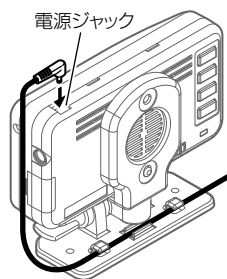
※必ず付属のクリーナーを使用してください。パーツクリーナーやガラスクリーナー等を使用した場合、成分によっては剥がれる場合があります。

※ダッシュボードの形状や素材によっては貼付きにくい場合があります。そのような場合、ミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。



4) 電源コードを接続し、配線の取回しを行なってください。

※運転の妨げにならないように、付属のコードクランプを使用し、配線の取回しを行なってください。

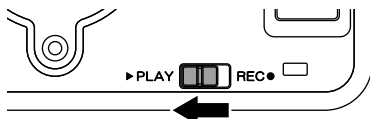


アドバイス

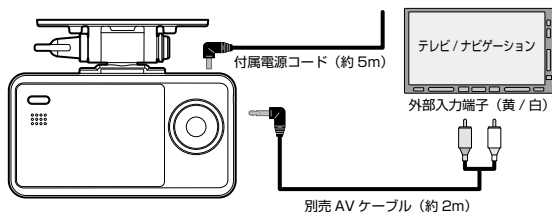
車内で取付方向を確認する

車両のテレビまたはナビゲーションにビデオ入力端子が付いている場合、実際に撮影する映像を画面に表示しながら確認することができます。

- 1) 本製品の録画 / 再生切替スイッチを **【PLAY】** に切替えます。

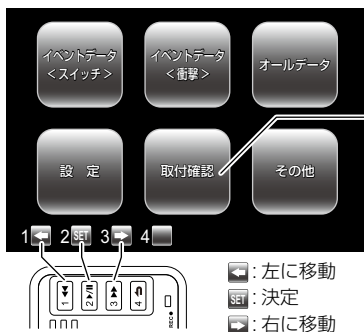


- 2) 本製品とテレビまたはナビゲーションを別売の AV ケーブルで接続します。



- 3) 起動後メニュー画面が表示されたら、**【◀◀】** スイッチまたは **【▶▶】** スイッチで **【取付方向確認】** を選択し、**【▶/||】** スイッチを押してください。

メニュー画面



選択する

アドバイス

画面下部に表示されるアイコンは、本製品を縦に持った時のスイッチの位置と一致します。また、アイコンの隣の数字とスイッチの数字も一致しています。

次ページへ

取付け方法

👉 アドバイス

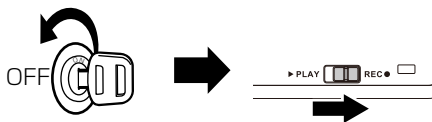
- 4) 画面に表示されるマークを目安に道路の水平線が、画面の中央～中央より少し上に合うようにステーの角度を調整してください。

※ GPS の受信状況も確認することができます。

取付方向確認画面



- 5) 調整後、ステーの角度調整ネジ等に緩みが無いことを確認し、電源を OFF にします。その後録画 / 再生切替スイッチを **[REC]** に切替え、ご使用ください。



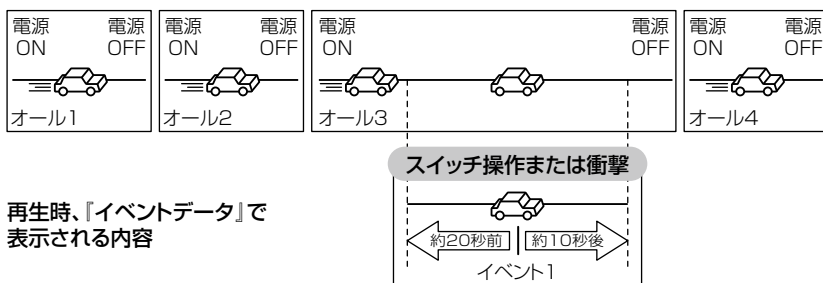
基本操作

映像を記録する

本製品は電源を ON にした後、POWER/ERROR ランプが緑点灯または遅い点滅した時点から映像の記録を開始し、電源を OFF にするまで記録を続けます。

通常は ON から OFF までで一つの録画データ（オールデータ）になりますが、本体のスイッチを押した時（⇒ P23）や衝撃を検出した時は、スイッチ操作または衝撃を検出した時点の前後合計約 30 秒間を、通常とは別の録画データ（イベントデータ）としてそれぞれ保存します。

再生時、『オールデータ』で表示される内容



👉 アドバイス

- ・ microSDHC カードの容量がいっぱいになると、古いデータから上書きして新しいデータを記録します。
- ・ スイッチ操作または衝撃による録画データ（イベントデータ）は、スイッチ操作は 10 件、衝撃は 30 件まで保存できます。
- ・ 起動直後にスイッチ操作や衝撃を検出しても、記録前の映像が無いため、記録時間の短い（30 秒未満）映像が記録されることがありますが故障ではありません。
- ・ スイッチ操作または衝撃による録画データ（イベントデータ）の保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しいイベントデータを記録することはできません。
- ・ POWER/ERROR ランプが橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。エラーを解除してください。（⇒ P48、49）
- ・ 事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録が出来ない場合があります。

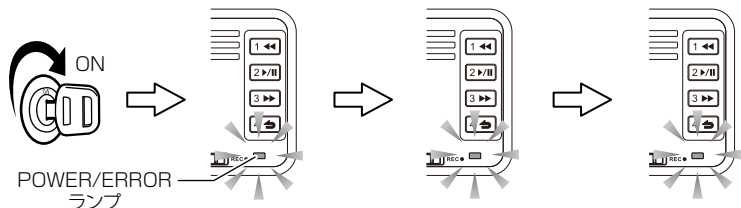
⚠ 注意

- ・ LED 式信号機を撮影すると、信号が点滅したような映像が記録されますが異常ではありません。これは LED 式信号機との同期対策のためで、記録映像において信号機の状況を確認できるようにしたものです。
- ・ 光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。

基本操作

電源を ON にする

本製品に付属バッテリーを接続し、エンジンを始動してください。



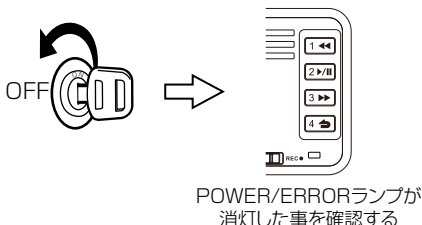
POWER/ERROR ランプ	橙点灯	遅い緑点滅	緑点灯
本体の状態	初期チェック中	正常録画中 GPS 未受信	正常録画中 GPS 受信

アドバイス

- ・電源 ON してからの時間が最大記録時間を超える場合、古いデータから順に上書きされていきます。
- ・終了時に正常に録画データの保存が行われなかった場合、次回起動時に録画データの修復処理を自動で行います。修復処理中は『録画データを修復しています』というアナウンスを継続して行います。

電源を OFF にする

キーを OFF に回してください。



△ 注意

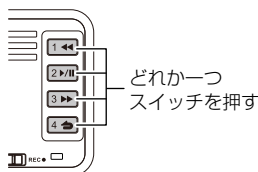
電源が ON の状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カード破損の原因となります。必ず、電源 OFF 後 LED が 3 秒以上消灯した事を確認し、microSDHC カードの抜き差しを行なってください。

動作を確認する

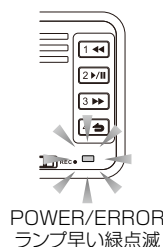
1. スイッチ操作での記録を確認する

- 1) POWER/ERROR ランプが遅い緑点滅 / 緑点灯している時（録画中）にスイッチを押してください。

※ 4 つのスイッチのどれを押しても記録できます。



- 2) POWER/ERROR ランプが早い緑点滅を始め、スイッチを押した前後合計約 30 秒間の録画データを保存します。



2. 音声の記録を確認する

本製品は映像と同時に音声も記録することができます。

- 1) POWER/ERROR ランプが遅い緑点滅 / 緑点灯している時（録画中）に、ラジオやオーディオの音を鳴らしてください。

※ 音声は自動で録音されます。

アドバイス

初期設定は音声録音機能は ON です。設定で OFF にすることもできます。
(⇒ P28、37)

基本操作

3. 記録した映像を確認する

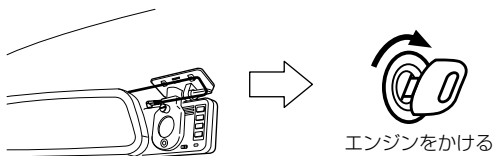
パソコンのビューワーソフトを使用するかテレビに接続し、記録した映像を確認してください。

《確認内容》

- ・『オールデータ』内に電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されていること
- ・『イベントデータ<スイッチ>』内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること
- ・録画データに音声録音されていること。

4. 内蔵バッテリーの充電を行う

再度車両へ取付けたあと、エンジンをかけて内蔵バッテリーの充電を行ってください。



👉 アドバイス

- ・商品出荷時には検査用予備充電しかされていませんので、長期間充電しない状態が続くと内蔵バッテリーが自然放電している場合があります。初めてご使用になる時は 8 時間程度の充電が必要です。
- ・充電を断続的に行う場合は、目安として 1 日 1 時間程度の走行で約 2 週間で満充電となります。
- ・別売の AC アダプターを使用することで、家庭用コンセントで充電することもできます。その際は録画 / 再生切替スイッチを **[PLAY]** に切替え、充電を行ってください。

パソコンで見る

ビューワソフトをインストールする

弊社ホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp>) よりビューワソフトをダウンロードし、ホームページの手順に従いインストールします。

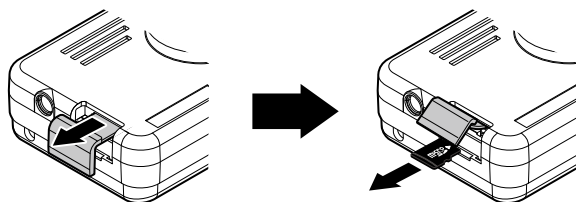


iSafeView.exe
アプリケーション
iSafeView

映像を再生する

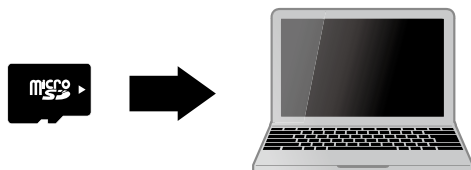
- 1) 本体の microSD カバーを開け、microSD カードを取出します。

- ・ microSD カードを取り出すときは、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



- 2) microSDHC カードに対応したカードリーダー等を使用し、パソコンへ挿入します。

※ microSDHC に対応していないカードリーダーの場合、パソコンがカードを認識できません。



アドバイス

microSD カードを取出す際はエアコン吹出し口等に落とさないように気を付けてください。

パソコンで見る

3) インストールしたビューワーソフトを起動します。



①	スイッチ操作により保存されたイベントデータの一覧を表示	④	本体の設定画面を表示
②	衝撃により保存されたイベントデータの一覧を表示	⑤	保存されている録画データ（チャプター）のサムネイルを表示
③	オールデータの一覧を表示	⑥	運行データを CSV 形式で出力する ※最新の 1000 件を保存

🖱️ アドバイス

CSV ファイルで確認できる保存情報

保存情報	記録内容
電源をオンにした時間	年月日 時分秒
電源をオフにした時間	年月日 時分秒
電源オンからオフまでの走行距離※	0 ~ 9999.9km
電源オンからオフまでのアイドル時間※	00:00:00 ~ 99:59:59
電源オンからオフの間に発生した速度超過時間※	00:00:00 ~ 99:59:59
電源オンからオフの間に発生した速度超過回数※	000 ~ 999 回
電源オンからオフの間に発生した安全運転報知回数	000 ~ 999 回
電源オンからオフの間に発生した衝撃トリガの回数	000 ~ 999 回
電源オンからオフの間に発生したスイッチトリガの回数	000 ~ 999 回

※ DROP-006『車両情報ユニット』接続時は車速パルスにより算出した速度を利用しています。

4) 確認したい映像をクリックすると再生画面に切替わり、再生が始まります。



①	トラックの先頭に戻る	⑩	現在のチャプターの再生時間 / 総時間を表示。 ※上書きされたデータがある場合、文字色がオレンジに変わります。
②	前のトラックに戻る	⑪	現在のトラックの再生位置を表示
③	コマ戻しする※再生中のみ	⑫	インターネット接続時、Google マップを表示 ※ GPS 受信時のみ自車位置を表示
④	再生を始める。 ※再生中は一時停止ボタンに切替わる	⑬	・速度表示 ・ブレーキの ON/OFF を表示 ※オプション接続時のみ
⑤	コマ送りする※再生中のみ	⑭	再生データのトラックの数 / 録画モード / 録画日時 / 音声の有無を表示
⑥	次のトラックに進む	⑮	緯度経度 / 加速度を表示
⑦	録画データの一覧画面に戻る	⑯	加速度グラフを表示
⑧	静止画を保存する。 ※一時停止中のみ表示	⑰	次のトラック番号を表示
⑨	現在再生しているトラックより 8 トラック分を動画データに変換し保存する。 ※一時停止中のみ表示		

👉 アドバイス

ビューアソフトで変換される動画データをパソコンで再生する場合、QuickTime などで再生することができます。

パソコンで見る

設定を変更する

ビューワーソフトの『設定』より、設定を変更することができます。

アドバイス

設定を行なった microSD カードを本体に挿入し、電源を入れる事によって本体に設定が反映されます。

注意

別売オプションの DROP-006『車両情報ユニット』を接続しない場合は車速パルスの設定をオートまたは OFF に設定してください。GPS 情報による車速表示が行われなくなります。

設定一覧

《基本設定》

項目	設定内容	初期設定	備考
常時録画	ON/OFF	ON	
衝撃感度	OFF/0.1 ~ 1.0G	0.4G	敏感 (0.1G) ~ 鈍感 (1.0G)
録画モード	ロング / ノーマル / ファイン	ノーマル	
音声録音	ON/OFF	ON	
音量	OFF/1 ~ 10	5	
車速パルス	OFF/2/4/6/8/16/20/25/ オート	オート	DROP-006 接続時のみ設定
威嚇 LED	ON/OFF	OFF	右側に充電状態が表示されます。

《メンテナンス設定》

項目	設定内容	初期設定	備考
オイル交換	OFF/1000km ~ 9000km	OFF	500km 単位で 設定可能
走行距離リセット	ON/OFF	OFF	
12 ヶ月点検	OFF/1 月 ~ 12 月	OFF	

《ドライブサポート設定》

安全運転報知	OFF/ アラーム / 音声	OFF	
GPS アナウンス	ON/OFF	OFF	
車速アラーム	OFF/10km/h ~ 120km/h	OFF	10km/h 単位で 設定可能
エコモード	OFF/ エコ 1 / エコ 2	OFF	

パスワードを設定する

パスワードを設定することで、プライバシーの保護や他人に録画データを見られないようにセキュリティを強化することができます。

⚠ 注意

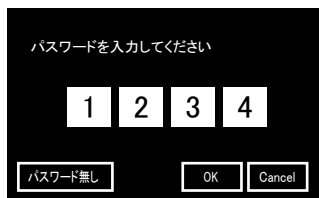
設定後、パスワードを忘れると解除することもできません。ご注意ください。

設定方法

- 1) 『設定』内の『その他』から『パスワード』を選択します。



- 2) 4桁の数字を入力し、『OK』を押します。



- 3) 次回ビューワーソフト起動時より、正確なパスワードを入力しないとメニュー画面に入ることができなくなります。

👉 アドバイス

- ・ 誤ったパスワードを入力した場合は、再度入力を行なってください。
- ・ パスワードを設定した場合は、パスワードを忘れないように管理してください。
- ・ パスワードを忘れてしまった場合、microSD カードのフォーマットをパソコンで行う事で使用することができます。ただし録画データも消去されてしまいます。

パスワード設定を解除する場合

パスワード設定画面で『パスワード無し』を選択してください。

パソコンで見る

録画データを消去する

設定内容を残した状態で、録画データのみを消去することができます。

アドバイス

- ・設定を行なった microSD カードを本体に挿入し、電源を入れる事によって本体に設定が反映されます。
- ・記録した映像を 1 件単位で削除することはできません。

消去方法

- 1) 『設定』内の『その他』から『録画データ消去』を選択します。



- 2) 確認画面が表示されるので消去しても良ければ、『はい』を選択します。



- 3) microSD カードを本体に挿入し電源を入れると、録画データの消去が開始されます。

工場出荷時に戻す

工場出荷時に戻すことで、設定と記録した録画データを消去します。

アドバイス

- ・設定を行なった microSD カードを本体に挿入し、電源を入れる事によって本体に設定が反映されます。
- ・記録した映像を 1 件単位で削除することはできません。

工場出荷時への戻し方

- 1) 『設定』内の『その他』から『工場出荷時に戻す』を選択します。



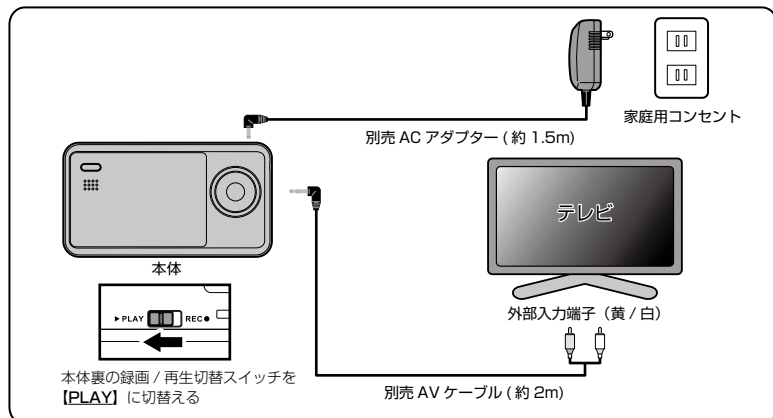
- 2) 確認画面が表示されるので工場出荷時の状態に戻しても良ければ、『はい』を選択します。



- 3) microSD カードを本体に挿入し電源を入れると、設定内容と記録した録画データおよびパスワードの消去が開始され、工場出荷時の状態に戻ります。

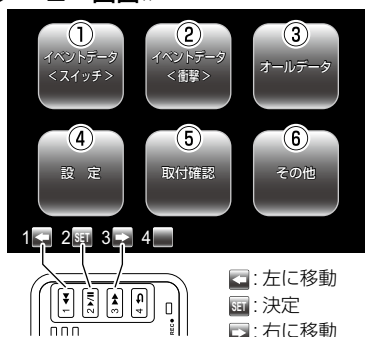
テレビで映像を見る

本体とテレビを接続する



本体の録画 / 再生切替スイッチを **[PLAY]** に切替え、本体とテレビを接続すると電源が入り、メニュー画面が表示されます。

《メニュー画面》



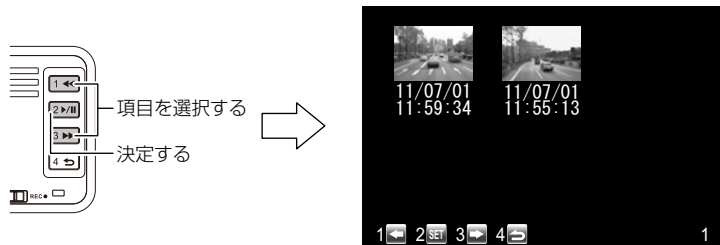
アドバイス

画面下部に表示されるアイコンは、本製品を縦に持った時のスイッチの位置と一致します。
また、アイコンの隣の数字とスイッチの数字も一致しています。

①	スイッチ操作によって保存された映像を表示。	④	設定画面に入る。
②	衝撃によって保存された映像を表示。	⑤	カメラ映像を表示。
③	電源の ON/OFF によって保存された映像を表示。	⑥	パスワードの設定、データの消去などの画面に入る。

映像を再生する

- メニュー画面で【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで『イベントデータ（スイッチまたは衝撃）』、『オールデータ』を選択し、【▶/||】スイッチを押すと、保存された映像が一覧で表示されます。



《選択画面》

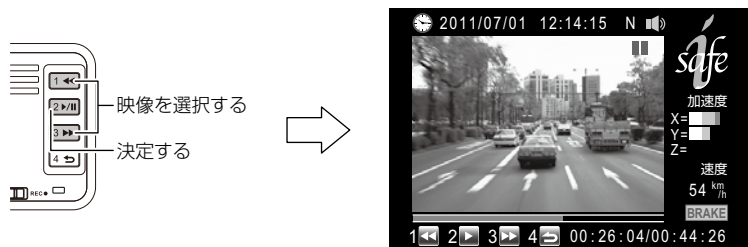


アドバイス

画面下部に表示されるアイコンは、本製品を縦に持った時のスイッチの位置と一致します。また、アイコンの隣の数字とスイッチの数字も一致しています。

テレビで映像を見る

- 2) 【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで再生したい画像を選択し、【▶/||】スイッチを押すと、再生画面が表示されます。



- 3) 再生画面が表示された後、【▶/||】スイッチを押すと映像が再生されます。

👉 アドバイス

- ・テレビ側に接続している端子をビデオや DVD レコーダー等の外部入力端子に接続し、録画することで記録した映像を保存することができます。
- ・記録した映像を 1 件単位で削除することはできません。

《再生画面》

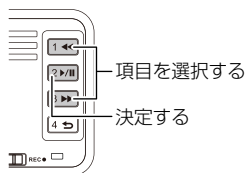


①	録画した日時を表示。	⑧	本体【▶▶】スイッチで操作 再生時：映像を早送りする。 早送り中に押すことで早送りの速度を切替える。(2段階) 一時停止時：映像をコマ送りする
②	録画モードの設定を表示。(⇒ P37) L: ロング N: ノーマル F: ファイン	⑨	本体【↶】スイッチで操作 前の画面に戻る。 長押し することで通常表示⇄全画面表示を切替える。
③	音声の有無を表示。	⑩	再生時間 / 総時間を表示。
④	再生状態を表示。	⑪	加速度を表示。 再生中はバーで表示し、一時停止中は数値で表示。
⑤	スイッチ操作または衝撃検出地点を表示。 ※スイッチ操作または衝撃による記録時(イベントデータ)のみ。	⑫	速度を表示。
⑥	本体【◀◀】スイッチで操作 再生時：映像を巻戻す。 巻戻し中に押すことで巻戻しの速度を切替える。(2段階) 一時停止時：映像をコマ戻しする	⑬	オプション『DROP-006』接続時、ブレーキのON/OFFを表示。
⑦	本体【▶/ 】スイッチで操作 再生および一時停止。		

テレビで映像を見る

設定を変更する

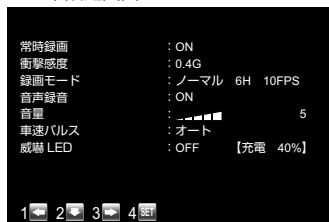
- 1) メニュー画面で【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで『設定』を選択し、【▶/||】スイッチを押します。



- 2) 【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで『基本設定』、『メンテナンス』、『ドライブサポート』を選択し、【▶/||】スイッチを押して各種設定画面に入ります。



《基本設定画面》



- 3) 【▶/||】スイッチを押して設定項目を選択し、【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで設定内容を変更します。
- 4) 設定変更後、【↶】スイッチを押すことで設定が登録されます。

⚠ 注意

別売オプションの DROP-006『車両情報ユニット』を接続しない場合は車速パルスの設定をオートまたは OFF に設定してください。GPS 情報による車速表示が行われなくなります。

設定一覧

《基本設定》

項目	設定内容	初期設定	備考
常時録画	ON/OFF	ON	
衝撃感度	OFF/0.1 ~ 1.0G	0.4G	敏感 (0.1G) ~ 鈍感 (1.0G)
録画モード	ロング / ノーマル / ファイン	ノーマル	
音声録音	ON/OFF	ON	
音量	OFF/1 ~ 10	5	
車速パルス	OFF/2/4/6/8/16/20/25/ オート	オート	DROP-006 接続時のみ設定
威嚇 LED	ON/OFF	OFF	右側に充電状態が 表示されます。

《メンテナンス設定》

項目	設定内容	初期設定	備考
オイル交換	OFF/1000km ~ 9000km	OFF	500km 単位で 設定可能
走行距離リセット	ON/OFF	OFF	
12 ヶ月点検	OFF/1 月 ~ 12 月	OFF	

《ドライブサポート設定》

安全運転報知	OFF/ アラーム / 音声	OFF	
GPS アナウンス	ON/OFF	OFF	
車速アラーム	OFF/10km/h ~ 120km/h	OFF	10km/h 単位で 設定可能
エコモード	OFF/ エコ 1 / エコ 2	OFF	

テレビで映像を見る

パスワードを設定する

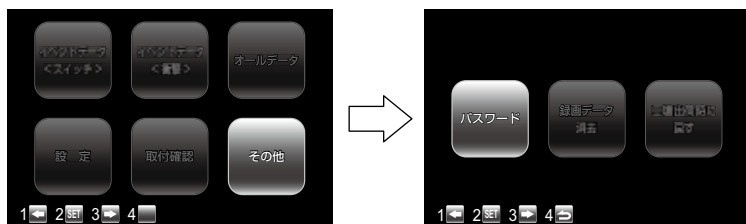
パスワードを設定することで、プライバシーの保護や他人に録画データを見られないようにセキュリティを強化することができます。

△ 注意

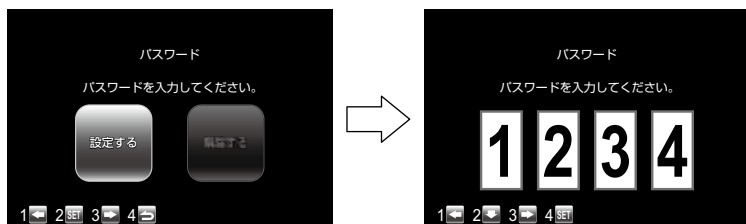
設定後、パスワードを忘れると解除することもできません。ご注意ください。

設定方法

- 1) メニュー画面の『その他』から『パスワード』を選択します。



- 2) 『設定する』を選択し、【▶/||】スイッチを押して数字を選択し、【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで場所を移動します。



- 3) 【↵】スイッチを押すことでパスワードが設定され、次回起動時に、正確なパスワードを入力しないとメニュー画面が表示されません。

👉 アドバイス

- ・ 誤ったパスワードを入力した場合、『パスワードが違います』と表示されるので【↵】スイッチを押し、再度入力を行なってください。
- ・ パスワードを設定した場合は、パスワードを忘れないように管理してください。
- ・ パスワードを忘れてしまった場合、microSD カードのフォーマットをパソコンで行う事で使用することができます。ただし録画データも消去されてしまいます。

パスワード設定を解除する場合

パスワード設定画面で『解除する』を選択してください。

録画データを消去する

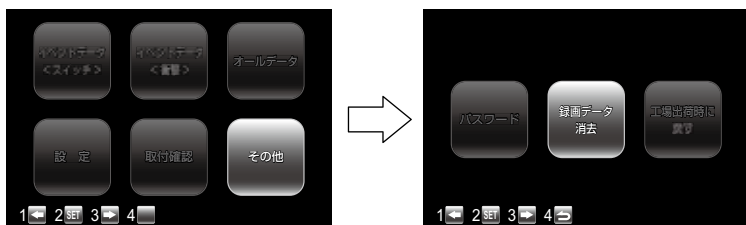
設定内容を残した状態で、録画データのみを消去することができます。

アドバイス

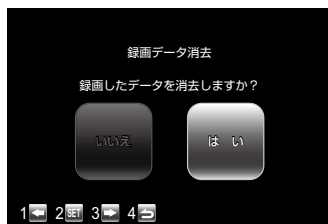
記録した映像を 1 件単位で削除することはできません。

消去方法

- 1) メニュー画面の『その他』から『録画データ消去』を選択します。



- 2) 確認画面が表示されるので消去しても良ければ、『はい』を選択します。



- 3) 録画データが消去されます。

テレビで映像を見る

工場出荷時に戻す

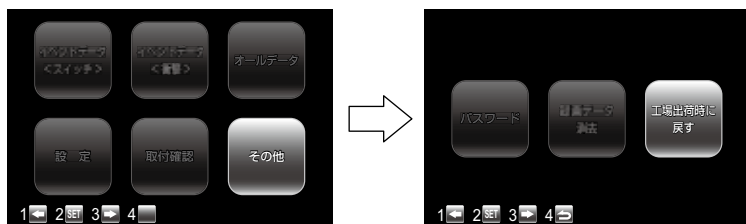
工場出荷時に戻すことで、設定と記録した録画データを消去し、初期化します。

アドバイス

記録した映像を 1 件単位で削除することはできません。

工場出荷時への戻し方

- 1) メニュー画面の『その他』から『工場出荷時に戻す』を選択します。



- 2) 確認画面が表示されるので工場出荷時の状態に戻しても良ければ、『はい』を選択します。



- 3) 設定内容と記録した録画データおよびパスワードが消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

便利な機能

録画モードを変更する

録画モードを変更することで、撮影映像の画質、フレームレートを変更することができます。

また録画モードを変更することにより本体に記録できる時間も変わります。

※ 下記表の記録時間はおよその目安としてください。記録時間は録画する風景や明るによって変動します。

《設定内容》

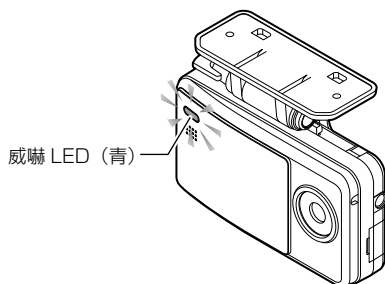
設定	画質	フレームレート	記録時間	
			音声入力無し	音声入力有り
ロング	標準	5fps	約 14 時間	約 12 時間
ノーマル	高画質	10fps	約 6 時間	約 6 時間
ファイン		20fps	約 3 時間	約 3 時間

※ フレームレートとは 1 秒あたりの記録枚数を表わしており、fps (Frames Per Second) という単位で表します。数値が大きいほど映像が滑らかに再生されます。

威嚇 LED を点滅させる

本製品は本体カメラ側に威嚇 LED (青) を搭載しています。『威嚇 LED』の設定を ON にすることでキー OFF 後、一定期間点滅します。

※ 点滅する期間はバッテリーの充電状態によって異なります。



👉 アドバイス

威嚇 LED は内蔵バッテリーを使用するため 1 週間に 2 時間以上走行する (充電する場合、『ON』に設定することをお勧めします。

便利な機能

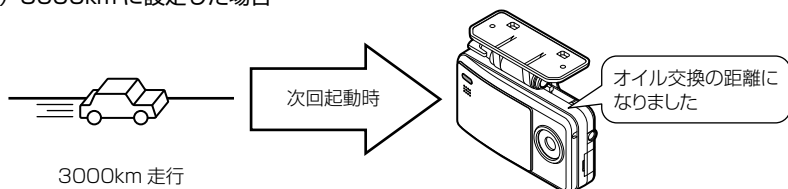
車両メンテナンス機能

設定した月・走行距離になったあと、次回起動時にアナウンスを行います。

オイル交換のお知らせ

設定画面で『1000km～9000km（500km単位）』から選択し設定すると、設定した距離を走行後、次回起動時にオイル交換を促すアナウンスを行います。

例) 3000km に設定した場合



👉 アドバイス

オイル交換終了後、設定画面で『走行距離リセット』を行うことで、再度設定した距離を走行後オイル交換のアナウンスを行います。

12ヶ月点検のお知らせ

設定画面で『1月～12月』から選択し設定することで、設定した月になると車両点検を促すアナウンスを行います。

「車両点検の時期になりました。」

安全運転報知機能

急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出すると音声またはアラーム音でお知らせする機能です。エコ運転の目安にしてください。また、長時間運転報知機能も連動して ON になります。

アナウンス内容

運転状況によって音声が切替わります。

安全運転報知レベル	アラーム音、音声内容
レベル 1	効果音 安全運転を心がけましょう
レベル 2	効果音 安全運転を心がけてください
レベル 3	効果音 運転に注意してください。

※ 設定をアラームにした場合、効果音のみ鳴ります。

アドバイス

- ・衝撃検出レベルの設定に応じて報知レベルが変化します。
- ・ブザーが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。
- ・スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時は、安全運転報知機能は作動しません。

長時間運転報知機能

連続で 2 時間運転を行なった時に下記アナウンスを行います。

※ 安全運転報知機能を『アラーム』に設定していてもアナウンスを行います。

「運転時間が 2 時間になりました。」

便利な機能

GPS セーフティアナウンス機能

事故多発ポイントや速度監視路線等、事故の多い地点を通過する前に注意を促すアナウンスを行います。

※ ポイントの追加および更新を行う事はできません。

事故多発ポイント

事故多発ポイントとして登録されている地点の約 300m 手前で 1 回下記アナウンスを行います。

「この先事故多発ポイントです。」

速度監視路線

速度監視路線として登録されている地点の約 1km 手前で 1 回下記アナウンスを行います。

「この先速度監視路線です。」

車速アラーム機能

設定画面で『10 ～ 120km/h』から選択し設定することで、設定した速度を超えた場合に下記アナウンスを行います。

またアナウンス後 1 分間は再アナウンスを行いません。

「スピードの出し過ぎに注意しましょう。」

エコモード

エコモードを設定することで、エコ運転を支援するアナウンスを行います。
また設定内容によってアナウンスを行う項目の数異なります。

項目	設定内容		アナウンス内容
	エコ1	エコ2	
加速評価（ふんわりアクセル）	—	○	ふんわりアクセルです。
加減速評価	—	○	緩やかな加速を心がけましょう。 緩やかな減速を心がけましょう。
一定速度での運転評価	—	○	エコ運転です。
アイドリング検出機能	○	○	長時間のアイドリングは控えましょう。
タイヤの空気圧チェック	○	○	タイヤの空気圧を点検しましょう。
エアコンの適正温度	○	○	エアコンは適切な温度に設定しましょう。

加速評価（ふんわりアクセル）

ゆっくりスタートした時にアナウンスを行います。

加減速評価

急な加減速を検出した時にアナウンスを行います。

一定速度での運転評価

30 ～ 60km/h において一定速度での走行を続けるとアナウンスを行います。

便利な機能

アイドリング検出機能

速度が 0km/h の状態が 5 分間連続した場合にアナウンスを行います。無駄なアイドリングを無くすことで、燃費の向上や CO₂ の削減に役立ちます。

※ アナウンスを行うまでの時間を変更することはできません。

👉 アドバイス

アイドリング検出機能を使用する場合、付属電源コードの ACC 線を車両 IG 線に接続する事をお勧めします。

※車両 ACC 線に接続した場合、ACC ON の状態（エンジン OFF）でもアナウンスを行います。

タイヤの空気圧チェック

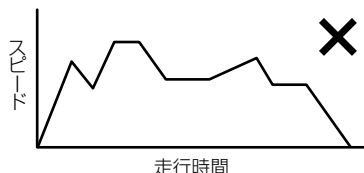
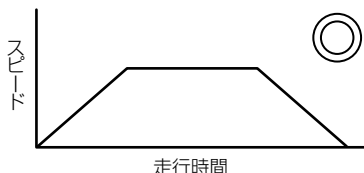
月が変わって最初の起動時に 1 回、アナウンスを行います。

エアコンの適正温度

7/1 ~ 8/31 の 10:00 ~ 15:59 に起動したときに 1 日に 1 回のみアナウンスを行います。また他のエコモードのアナウンスと重なった場合はアナウンスを行いません。

エコ運転を行う際の注意点

1. 丁寧なアクセルワークを心がけましょう。
※最初の 5 秒で 20km/h 程度になるのが目安です。
2. 車間距離に余裕を持ち、急加速・急減速を行わず速度変化の少ない運転をしましょう。
3. 早めにアクセルを OFF にし、エンジンブレーキを有効に使いましょう。
4. 気象条件に応じたエアコン操作をしましょう。
5. 無用のアイドリングはやめましょう。
6. タイヤの空気圧は定期的にチェックしましょう。
7. 無駄な荷物を車に積むのはやめましょう。



こんなときは？

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
POWER/ERROR ランプが点灯しない。	●配線を間違えていませんか？ ●ヒューズが切れていませんか？ ●接触不良、断線などしていませんか？ ●テレビ接続端子に電源コードを接続していませんか？	10,11 ページ 11 ページ 10,11 ページ 7,16,18 ページ
記録した映像を削除したいのですが？	●設定画面にて『録画データ消去』を行うことで全映像を削除することができます。1 件ずつ削除することはできません。	30,39 ページ
事故の衝撃で車両バッテリーが破損しても映像を記録することはできますか？	●衝撃検出時バックアップバッテリーにより、車両のバッテリーが破損しても映像を 10 秒間記録することができます。	—
バックアップ機能で映像が記録されない。	●内蔵バッテリーの充電が不十分であったり、内蔵バッテリーの寿命の可能性があります。	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	●本製品は録画モードを変更することで記録時間を変更することができます。また、音声録音機能の ON/OFF によっても記録時間は異なります。	41 ページ
microSDHC カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	● microSDHC カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に上書きされていきます。	21 ページ
microSDHC カードに録画データが保存されていない。	● microSDHC カードは消耗品です。2 ～ 3 年を目安に交換を行なってください。	5 ページ
『イベントデータ』に記録時間が短い(30 秒未満)映像がありますが故障ですか？	●起動直後は記録前の映像が無いため、記録時間の短い映像が記録されることがありますが故障ではありません。	21 ページ
速度が表示されない / 実際の速度と大幅に違う	● GPS 未受信時は速度が表示されません。また GPS の受信状態が悪い場合や、DROP-006 接続時に車速パルスの設定が異なっていると速度が大幅に異なって表示されます。	—
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	●事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	—
microSDHC カードがパソコンで認識されない	●お使いの SD カードリーダーは SDHC に対応していますか？ 付属のカードは microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。	—
記録した映像が暗い	●本製品を少し下向きになる（記録映像内の道路水平線が少し上にくる）ように角度を調整することで改善する場合があります。	16 ページ
威嚇 LED が光らない	●本製品のバッテリー充電状態によって点滅期間は異なります。	41 ページ

付録

エラー確認表

エラーアナウンスが発生した場合、下記内容をご確認ください。

エラー項目	音声アナウンス内容	エラー項目別対処方法
内蔵バッテリー異常	内蔵バッテリー異常です	内蔵バッテリーの充電を行なってください。充電を行なってもエラーが解除されない場合、内蔵バッテリーの交換が必要です。
SD カードフォーマット異常	SD カードをフォーマットする必要があります 2 番のスイッチを 3 秒間押してください	microSDHC カードの異常を検出し、自動で修復できない場合にアナウンスを行います。また、新しい microSDHC カードを挿入した際にもアナウンスを行います。アナウンスに従い（2 番のスイッチを 3 秒間押す）、フォーマットを行なってください。
SD カード異常	SD カード異常です	microSDHC カードが故障している可能性があります。電源 OFF 後、microSDHC カードを抜き、端子部が汚れていないか確認後、再起動してください。症状が改善されない場合は、microSDHC カードを交換してください。
SD カード未検出異常	SD カードが入っていません	電源を OFF 後 microSDHC カードを挿入し、再起動してください。
スイッチ異常	スイッチ異常です	スイッチが押されたままになっていないことを確認をし、再起動してください。
機器温度異常	機器温度が高くなっています	本体の使用温度範囲を超えています。夏場などはしばらく時間を置いてからご使用ください。
機器異常	機器異常です	電源を OFF にし、内蔵バッテリーを外してください。約 1 分程度おいた後、内蔵バッテリーを取付け、キーを ON にし電源を入れてください。症状が改善されない場合は、購入された販売店へご相談下さい。
SD カードを起動中に抜いた場合	SD カードを抜かないでください	電源を OFF 後 microSDHC カードを挿入し、再起動してください。
自動修復	録画データを修復しています	前回終了時に正常に録画データの保存が行われませんでした。自動で修復されます。

POWER / ERROR ランプ確認表

本体作動時の POWER / ERROR ランプ点灯パターンの確認表です。

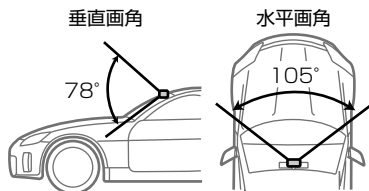
録画 / 再生 切替スイッチ	GPS 受信状態	POWER/ERROR ランプ表示	内容
REC	受信	緑点灯	正常動作（記録中）
	未受信	遅い緑点滅	
	—	早い緑点滅	スイッチ操作または衝撃による記録中
		橙点灯	システムチェック中
PLAY	—	橙点滅	エラー表示 音声アナウンスを確認してください
		橙点灯	正常動作（再生中）
REC/PLAY	—	橙点滅	エラー表示 音声アナウンスを確認してください
		早い橙点滅	録画データの消去中

付録

製品仕様

本体

電源電圧	DC12 / 24V
作動温度範囲	-10℃～60℃
本体サイズ	106 (W) × 58 (H) × 23.5 (D) / mm (突起部除く)
有効画素数	30 万画素
撮像素子	CMOS
記録映像サイズ	640 × 480
カメラ画角	水平 105° 垂直 78°
総記録時間	約 12 時間 (撮影モードにより異なる)
記録方式	常時録画、3 軸加速度センサ、 スイッチ操作による記録
重量	130 g (バッテリー含む)



※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。